

NIPPO

環境ラベル登録完了

舗装業界初 3商品を対象に



NIPPOは、独自の環境ラベル「写真」を制定し、環境省が運用する「環境ラベル等データベース」に対象商品と共に登録した。環境ラベルは、商品の環境関連情報を消費者や利用者に伝える際に使われるシンボルマークの呼称。I・IIの3タイプが運用され、同社は企業などが自らラベルと商品の基準を定める「タイプII」としてラベルを考案。ラベルと中温化アスファルトなど三つの対象商品の基準確認を環境省に依頼し、登録手続きを完了した。環境ラベルの登録は舗装業界では初めて。

取り組みとしてホームページから広く紹介していくもので、自動車メーカーなど多くの企業が利用している。ほかには、日本環境協会が制定した基準に適合する商品に付与される「タイプI」、産業環境管理協会が運用する「タイプIII」がある。いずれも環境に配慮した製品を選択する際の情報源の一つと認知されている。

NIPPOは、環境配慮勢のアピールに加えて、「類似商品が多い中」で差別化を図る「舗装事業本部」ことを目的に環境ラベルを制定・登録することにした。同社のラベルは、コーポレートマークをベースに、環境太陽をデザインした。対象商品として登録したのは▽中温化アスファルト混合物「エコファイン」▽遮熱性舗装「パトフェクトクール」▽保水性舗装「クールポリシール」の三つ。

3商品を登録するに当たって定めた自主基準は、▽エコファイン製造時の二酸化炭素(CO₂)排出量を従来比で1平方メートルあたり100g以上削減▽パーフェクトクール夏季の路面温度の上昇を10度以上抑制▽クールポリシール同一とされた。環境ラベルは、3商品のパンフレットに記載するほか、CSR(企業の社会的責任)の取り組みとしてPRする。対象商品は順次追加していく計画だ。